

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市空家等除却支援補助金	開始年度	平成28年度
団体名	外環状線(産業道路)から南側の区域にある空家の所有者	団体等の状況	☐ 課税事業者 ☐ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則 函館市空家等除却支援補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	補助対象地区(産業道路から南側)内に自らが所有する特定空家を除却する工事に要する費用の一部を補助する。 補助対象額の1/2以内で上限30万円
目 的	(目 的) 適切な管理が行われていない特定空家の除却に要する費用の一部を補助することにより、空家の解消を促進し、地域住民の生活環境の保全を図る。
・ 効果	(効 果) 除却後の跡地の活用や流通化により、持続可能な都市構造への再構築を促すことにより、函館市立地適正化計画に基づくコンパクトシティを推進する。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	自己負担額	計
		市	その他					
収 入	R4 (決算)	4,119 [4,119]					14,155 [12,356]	18,274 [16,475]
	R5 (決算)	4,500 [4,500]					14,935 [11,487]	19,435 [15,987]
	R6 (決算)	2,844 [2,844]					14,036 [13,513]	16,880 [16,357]
	R7 (決算)	2,100 [2,100]					9,086 [8,811]	11,186 [10,911]
	R8 (予算)	6,000 [6,000]					14,485 [12,500]	20,485 [18,500]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体負担金等			計
	R4 (決算)			18,274 [16,475]				18,274 [16,475]
	R5 (決算)			19,435 [15,987]				19,435 [15,987]
	R6 (決算)			16,880 [16,357]				16,880 [16,357]
	R7 (決算)			11,186 [10,911]				11,186 [10,911]
	R8 (予算)			20,485 [18,500]				20,485 [18,500]

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市空家等除却支援補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか)	☒	☐	増加する空家は深刻な社会問題となっており、中でも管理不全な特定空家の住宅は、周辺的生活環境に悪影響を及ぼすものであり、市民にとっては身近な問題である。 特定空家の住宅の解消は、市民の安全で安心な生活環境の形成に貢献するものである。
	①広く市民生活の向上に貢献する事業	☒	☐	
	②市民ニーズが高い事業	☒	☐	
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	資金不足で空家の除却を先送りしている所有者に対して、自発的な解消を促す必要がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	自主性の視点は当該補助事業に合致しない。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	経済的に困窮している空家の所有者に対して、有効的である。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市空家等除却支援補助金
----------------	---------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
「第2期函館市空家等対策計画」において, 令和7年度までに320棟の特定空家等の解消を目標としている。	
(達成状況)	
計画期間(令和3年度～令和7年度)の特定空家等の解消状況	
・令和3年度 37棟	補助実績 6棟
・令和4年度 42棟	補助実績 14棟
・令和5年度 59棟	補助実績 15棟
・令和6年度 56棟	補助実績 15棟
・令和7年度 29棟	補助実績 7棟



(評価)	(理由)
十分効果をあげている ☐	補助対象地区においては, 特定空家等の除却により, 地域住民の生活環境の保全が図られるとともに, 跡地の活用により移住誘導の促進に効果がある。 また, 補助対象外となった空家の自発的な除却の促進にもつながっている。
一定の効果をあげている ☒	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 現行の補助対象エリア内にある特定空家数が減少し, 令和6年度から申請件数が減少してきたことから, 対象エリアの拡大を検討の上, 危険な空家の減少につげるため, 継続する。 (見直しの時期)
☒ 見直したうえで補助を継続	
☐ 廃止	
☐ その他	
(廃止の理由) (廃止の時期)	
(その他の内容)	

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 10 年度	☒ 終期到来時に再検討	令和 10 年度